

# 安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 04. 2022

製品: Basta® SL / バスタ液剤

バージョン: 4.0

(30744677/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日 17.05.2022

## 1. 化学品及び会社情報

### Basta® SL バスタ液剤

用途: 農薬製品, 除草剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

## 2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

急性毒性: 区分 5 (経口)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

生殖毒性: 区分 1B (生殖能力)

生殖毒性: 区分 2 (胎児)

特定標的臓器毒性 (反復暴露): 区分 2

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

## 【GHSラベル要素】:

## 絵表示又はシンボル:



## 注意喚起語:

危険

## 危険有害性情報:

H318	重篤な眼の損傷。
H315	皮膚刺激。
H303	飲み込むと有害のおそれ。
H373	長期にわたる、または、反復暴露により臓器の障害のおそれ。
H360	生殖能力への悪影響のおそれ。胎児への悪影響のおそれの疑い。
H402	水生生物に有害。
H411	長期的影響により水生生物に毒性。

## 注意書き:

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。

## 注意書き（安全対策）:

P260	粉じん/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P264	取扱後は汚染された部位をよく洗うこと。
P280	保護手袋/保護衣/安全眼鏡を着用すること。

## 注意書き（応急措置）:

P310	直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P303 + P362	皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P391	漏出物を回収すること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

## 注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

## 注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。
------	---

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 04. 2022

製品: Basta® SL / パスタ液剤

バージョン: 4.0

(30744677/SDS\_GPA\_JP/JA)

印刷日 17.05.2022

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 除草剤

#### GHS分類に寄与する成分

2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩

含有量 (W/W): 18.5 %

CAS番号: 77182-82-2

急性毒性: 区分 4 (吸入 - 粉塵)

急性毒性: 区分 4 (経口)

急性毒性: 区分 4 (経皮)

生殖毒性: 区分 1B (生殖能力)

生殖毒性: 区分 2 (胎児)

特定標的臓器毒性 (単回暴露) (神経系): 区分 1

特定標的臓器毒性 (反復暴露) (神経系): 区分 2

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 1

M-ファクター慢性: 1

$\alpha$ -スルホ- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10-16)エーテルのナトリウム塩

含有量 (W/W): < 25 %

CAS番号: 68585-34-2

化審法: (7)-155

労働安全衛生法: (7)-155

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

1-メトキシ-2-ヒドロキシプロパン

含有量 (W/W): < 15 %

CAS番号: 107-98-2

化審法: (2)-404

労働安全衛生法: (2)-404

引火性液体: 区分 3

急性毒性: 区分 5 (経口)

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (眠気とめまい)

## 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。直ちにコルチコステロイドエアゾール製剤を吸入すること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水で十分に洗い流した後無菌包帯を巻き、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。  
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水、粉末、泡、二酸化炭素

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物、シリカ化合物、リン化合物  
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

蒸気/スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する (例: 砂、おが屑、珪藻土)。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。適切な保護装置をつけること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:

蒸気は空気中で爆発性の混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 24 月

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

1-メトキシ-2-ヒドロキシプロパン, 107-98-2;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 50 ppm (ACGIHTLV)

STEL (short term exposure limit : 短時間 100 ppm (ACGIHTLV)

**【保護具】****[呼吸用保護具]:**

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：有機、無機、酸性無機、アルカリ性化合物及び有毒粒子のガス/蒸気用複合フィルターEN 14387タイプABEK-P3

**[手の保護具]:**

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

**[眼の保護具]:**

密着性安全ゴーグル（飛沫よけ型ゴーグル）

**[皮膚及び身体の保護具]:**

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

**[一般的な安全及び衛生対策]:**

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態:	液体
色:	青色
臭い:	特異臭
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	約 6 - 7 (20 ° C)
融点:	本品については試験していない。
沸点:	約 100 ° C
引火点:	約 59 ° C (ISO 13736, 密閉式)
蒸発率:	UN L.2 燃焼持続性, この製品は自発的には燃焼しない。
可燃性 (固体/ガス):	適用せず
爆発下限界:	(約 55.6 ° C) (DIN EN 15794)

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 24. 04. 2022  
製品: Basta® SL / パスタ液剤

バージョン: 4.0

(30744677/SDS\_GPA\_JP/JA)

印刷日 17.05.2022

爆発上限界: この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。

自然発火温度: 約 440 ° C

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

爆発危険有害事項: 爆発性なし。

火災を引き起こす性質: 火災伝播性はない。

蒸気圧: 本品については試験していない。

密度: 約 1.1 g/cm<sup>3</sup>  
(20 ° C)

相対ガス密度 (空気): 適用せず

水に対する溶解性: 分散可能  
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow): 適用せず

粘度: データなし。

その他の情報:  
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:  
製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:  
強酸, 強塩基, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:  
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:  
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

急性毒性の評価:

単回の摂取であれば、低毒性である。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,000 mg/kg

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2,000 mg/kg

死亡なし

記載物質に関する情報: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩

実験または計算によるデータ:

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): 1.26 mg/l 4 h (EU指令における評価方法)

煤塵エアロゾルとして試験された。

### 刺激性

刺激性作用の評価:

眼に重い障害を与える可能性がある。皮膚接触により刺激を生じる。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ:

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ:

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:

Buehler法:

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

### 発がん性

発がん性の評価:



本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。各種の動物実験の結果は、発癌効果の兆候を示さなかった。

### 生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩

生殖毒性の評価:

この物質は、動物実験において繁殖力の減少の原因となった。

### 発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩

催奇形性の評価:

この物質は、動物実験において、先天性異常の原因とはならなかった; しかしながら、親動物に対して毒性を示す量において、発達への毒性が観察された。

### 特定標的臓器毒性 (単回ばく露):

単回暴露評価:

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

### 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩

反復投与毒性の評価:

長年にわたる、または反復ばく露により神経障害のおそれ。

記載物質に関する情報:  $\alpha$ -スルホ- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10-16)エーテルのナトリウム塩

反復投与毒性の評価:

反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-メトキシ-2-ヒドロキシプロパン

反復投与毒性の評価:

動物実験において、反復皮膚曝露による有害影響は、観察されなかった。繰り返し、大量に吸入すると肝臓に障害を起こすことがある。動物実験によると、この物質の高用量反復経口摂取は肝臓の障害を引き起こすことがある。

### 誤えん有害性

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。  
予測される吸入危険性はない。

### その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:  
水生生物に有害。長期的影響により水生生物に毒性。

魚類に対する毒性:  
LC50 (半数致死濃度) (96 h) 63.1 mg/l, ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*)

水生無脊椎動物:  
EC50 (48 h) 35.7 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*)

水生植物:  
EC50 (72 h) 51.9 mg/l, 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapit*)

無影響濃度 0.317 mg/l, 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapit*)

### 移動性

環境区分間の輸送評価:  
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩  
環境区分間の輸送評価:  
| 土壌への暴露後、本製品は少量ずつ流出する。分解の程度によるが、多量の水により、土壌深部へと移行し得る。

### 残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):  
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩  
生分解性及び除去率の評価 (水中環境):  
容易に生分解性されない (OECD基準による)

### 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:  
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報:  $\alpha$ -スルホ- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=10-16)エーテルのナトリウム塩  
生体蓄積性の可能性評価:  
生体蓄積性はないと考えられる。

記載物質に関する情報: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩  
生体蓄積性:  
生物濃縮係数: < 1, ブルーギル (学名: *Lepomis macrochirus*)  
生物体内に蓄積しない。

### [追加情報]

その他の環境毒性情報:  
前処理なしに河川等に流してはならない。

## 13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:  
使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際陸上輸送:

容器等級: III  
国連番号: UN 3082  
国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM  
品名 (国連輸送名): 環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)  
(内容物 ALCOHOLS, C10/C16, ETHOXYLATED, SULFATES, SODIUM SALTS)

海上輸送  
IMDG

Sea transport  
IMDG

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 24. 04. 2022

製品: Basta® SL / パスタ液剤

バージョン: 4.0

(30744677/SDS\_GPA\_JP/JA)

印刷日 17.05.2022

容器等級:	III	Packing group:	III
国連番号:	UN 3082	ID number:	UN 3082
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	9, EHS	Transport hazard class(es):	9, EHS
海洋汚染物質:	該当	Marine pollutant:	YES
品名 (国連輸送名):		Proper shipping name:	
環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。) (内容物 ALCOHOLS, C10/C16, ETHOXYLATED, SULFATES, SODIUM SALTS)		ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (contains ALCOHOLS, C10/C16, ETHOXYLATED, SULFATES, SODIUM SALTS)	

**航空輸送**

IATA/ICAO

容器等級: III

国連番号: UN 3082

国連分類 (輸送における危険有害性クラス):

品名 (国連輸送名):

環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。) (内容物 ALCOHOLS, C10/C16, ETHOXYLATED, SULFATES, SODIUM SALTS)

**Air transport**

IATA/ICAO

Packing group: III

ID number: UN 3082

Transport hazard class(es):

Proper shipping name:

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (contains ALCOHOLS, C10/C16, ETHOXYLATED, SULFATES, SODIUM SALTS)

**[追加情報]**

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

5 L以下の正味量を含むパッケージの製品には、次の規定が適用される場合がある。

ADR、RID、ADN：特別規定375；

JT/T617.3；

IMDG：2.10.2.7；

IATA：A197；

TDG：特別規定99 (2)；

49CFR：セクション171.4 (c) (2)

**15. 適用法令**

消防法: 非危険物, 指定可燃物・可燃性液体類

1-メトキシ-2-ヒドロキシプロパン

労働安全衛生法

表示対象物

1-メトキシ-2-ヒドロキシプロパン

労働安全衛生法

通知対象物

ポリ(オキシエチレン)ドデシルエーテル

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 24. 04. 2022  
製品: Basta® SL / パスタ液剤

バージョン: 4.0

(30744677/SDS\_GPA\_JP/JA)

印刷日 17.05.2022

化審法  
優先評価化学物質  
< 1 %  
通し番号189

ポリ(オキシエチレン) = ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム  
化学物質排出把握管理促進法  
第1種指定化学物質  
8.7 %  
政令別表第1 : 409

ドデシル硫酸ナトリウム  
化学物質排出把握管理促進法  
第1種指定化学物質  
6.9 %  
政令別表第1 : 275

表示すべき危険有害性決定要素: 2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスホリル]ブタン酸のアンモニウム塩, [ $\alpha$ -ヒドロ- $\omega$ - (スルホオキシ) ポリ (オキシエチレン) のアルキル (C = 10 ~ 16) エーテル] のナトリウム塩

### その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

---

## 16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

---

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。